

# 福祉優先道政へ全力

## 釧路市区 石川氏が決意

北海道東から初の日本共産党道議をと、党釧根地区委員会は7日、石川明美氏を道議選釧路市区（定数4）に擁立すると記者発表しました。

村上和繁地区委員長



会見する石川氏（中）  
11月7日、北海道釧路市

は、石川氏が市議4期を務め、前回の道議選に立ち、昨年の総選挙で市民と野党の統一候補として大健闘し、釧路市では2万6000票を獲得した市民と野党の共闘の「大黒柱」

と紹介しました。

石川氏は、自公が多数を占める道議会に風穴を開け、その力で参院選を勝利したいと強調。二番力を入れたのは福祉。子どもの医療費助成をせめて通院も小学校卒業まで拡大し、中学卒業まで医療費の無料化を。JR路線存続は国の責任で。

それにしても知事の発信が弱すぎる」と廃線を容認する高橋道政を厳しく指摘しました。

原発問題では、釧路地方が最終処分場に検討され、「安倍政権の地方軽視は甚だしい。釧根選出の道議7人のうち6人は自公議員。何としても勝利したい」と表明しました。